

## 第2章 地域の拠点としての施設のあり方

### 1 地域福祉の推進について

これからの地域福祉は、行政や社会福祉関係者とともに、地域に関わる全ての人々が、地域社会の構成員として主体的に、もしくは協働しながら、地域社会の福祉課題の解決に取り組むこと、つまり「地域力」を熟成し、誰もが安心して暮らせる地域社会の創造に、誰もが実践・活動できるよう目指すことが必要とされています。

また、従来は、自助、共助によって、個別の問題を解決してきた家族や地域の相互扶助が今日は希薄化しており、このような現状を捉え、新しい「つながる社会」をどのように構築していくかを考えなくてはなりません。ソーシャル・キャピタルの概念では、人びとの協調行動が活性化することにより、社会の効率性を高めることができると示されており、社会組織の特徴として信頼・規範・ネットワークが明記されています。

このことを踏まえて、当研究会では、施設が地域住民の生活関連分野に対し、ネットワークを構築できる「支援組織」の一端として担うことができるか、つまり、施設が「地域の拠点」となるための方策として、

具体的なプログラム作成を行い、モデル事業を実施しました。実施されたモデル事業を通しての成果を鑑み、本プログラムを更新しております。

## 2 地域拠点としての新たな役割

近年、社会経済環境の変容に伴い、新たな形による不平等・格差の発生や、既存の社会資源では対応できない社会福祉の問題が発生しています。

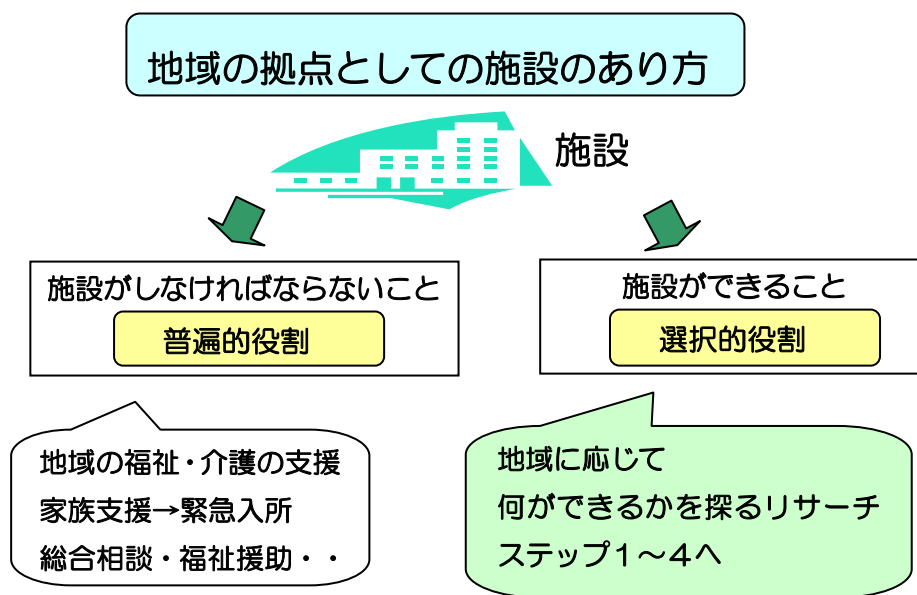
施設では、これまでもボランティアの受入れや福祉教育の活動などを通して、地域との交流に取り組んできましたが、解決できない新たな社会福祉の問題の発生に対しては、既存の制度のみならず、補完できる社会福祉システムを構築していく必要性が示唆されています。

施設がこのような取り組みを行うことは、専門性などの施設機能を提供し、地域に貢献する使命のみならず、地域との連携をもつことにより、さらなる地域での施設への理解、支援を得ながら、地域住民参加による法人経営にもつなげることができます。

本プログラムは、地域の拠点を目指す施設として、具体的な事業に

取り組む際の、事業推進の手法を提案するものです。

(図1)



### 3 事業取組のプロセス

#### ステップ1：施設が地域の拠点となることへの職員の理解 と認識の共有

- ① 管理職・一般職員へのアンケート調査（様式例1）
  - ・ 職員の意識確認
  - ・ 現在実施している活動・事業の検証
- ② アンケートの結果を反映した研修の実施
  - ・ 研修内容の検討
  - ・ 実施方法・講師の選定等
- ③ 施設内での検討会の実施
  - ・ 現在実施している交流事業の検証
  - ・ 意識の共有への取組

## ステップ2：拠点となる取組が安定的かつ効果的に

### 実施できる体制の整備

#### 2-1 地域の範囲・地域の実態調査（様式例2）

（地域）①村・町全体，②地区社協，③地域包括支援センター

#### 2-2 地域住民等の意識調査

##### アンケート調査（様式例3）・意見交換・連携

- ① 利用者・家族の意向調査及び理解の促進
- ② 地域住民・企業・学校へのアンケート調査
- ③ タウンミーティングの実施
- ④ 施設情報の公開
- ⑤ 関係機関との連携
  - ・（例）市町村，地域包括支援センター，中核地域生活支援センター，地域の地区社協との協働

#### 2-3 実施体制の整備

- ① 施設と地域住民との話し合いの場づくり
- ② 法人内の連携組織を整備
- ③ 施設内（法人内の連携組織を含む。）に事業の担当者を  
配置

#### 2-4 具体的な取組の決定

## 2-3 実施体制の整備

### 実施体制の整備パターン1 地域協議会方式

#### 【実施例】「プレーグ本埜地域運営協議会」

##### ○構成員

- ・ 行政（村役場）・社会福祉協議会・民生児童委員協議会・地域包括支援センター・シルバークラブ連合会・小中学校・地域住民組織の代表・施設入居者利用者の家族 計22名
- ・ 法人・施設・事業所の代表 計5名

### 実施体制の整備パターン2 委員会方式

#### 【実施例】

##### ① 「グリーンヒル地域福祉推進委員会」

##### ○構成員

特養（施設長・主任生活相談員）、高齢者複合ケア施設（サービス部長・主任生活相談員・小規模多機能リーダー・ケアマネ）、地域包括支援センター長、通所介護科主任生活相談員 計 8名

##### ② 「九十九里園事業担当スタッフ」

##### ○構成員

施設長・看護師・居宅介護支援事業所・事務 計5名

##### ③ 「松寿園事業プロジェクト」

##### ○構成員

アドバイザー・施設長・施設福祉サービス部・総務部・地域福祉サービス部・地域包括支援センター部 計14名

## 2-4 具体的な取組の決定

### 具体的な取組の決定に当たってのプロセス

A アンケート結果→評価・分析→地域ニーズの抽出

B 現在、施設として取り組んでいる事業又は活動と A で得られた地域ニーズとの関連性を評価する。

### 具体的な取組パターン1

現在、施設として取り組んでいる事業又は活動の発展的取組により、プロセス A・B で得られた地域ニーズに添えていく。

#### 【実施例】

- ①九十九里園 地域に根ざした交流の実施
- ②松寿園 従来から実施していた「うんどう教室」での「介護相談窓口」の設置

### 具体的な取組パターン2

新たに、施設として取り組む事業又は活動の取組により、プロセス A・B で得られた地域ニーズに添えていく。

#### 【実施例】

- ①グリーンヒル 介護予防のための講演・体操・活動 等
- ②プレーグ本埜 災害時の施設機能活用、子ども・障害者の居場所づくり
- ③松寿園 サービス情報発信・ネットワーク構築 等

### ステップ3：具体的事業の実践

#### 【目的】

- 施設運営の向上につながる地域活動の受入
- 地域ニーズ・課題解決に繋がる施設の取組
- 地域住民同士の交流に繋がる活動

#### 【役割】

- ① 施設の建物（場）の提供，設備・機器の活用など
- ② 専門機能の活用
- ③ 災害時の拠点
- ④ 防犯活動への参画
- ⑤ 教育機能の活用
- ⑥ ボランティア活動のためのマネジメント体制の構築



【実施例1】グリーンヒル 「勝田台元気クラブ」

- ・ 対象 65歳以上の高齢者
- ・ 「介護家族への教育支援プログラム～家族と職員の相互参加型交流講座～」(12日間)の開催
- ・ 延べ385名の参加

【実施例2】プレーグ本塾

- プレーグ本塾地域運営協議会の設置・開催 H19年度2回開催
- 災害対策としての施設の機能を活用
- 子ども・障害者の居場所確保, 子供たちと高齢者の交流, 福祉教育の機会

【実施例3】九十九里園

- 施設行事の開催(地域住民参加) 延べ190名来園
- 地域行事への参加 延べ21名参加
- 職場体験学習の受け入れ 延べ11名受け入れ

【実施例4】松寿園

- 「うんどう教室」での「あおぞら介護相談窓口」の設置(第2・第4木曜日開催)
- 「やわらか・ケア介護塾」H20年度5回開催予定

#### ステップ4：取組の評価と検証

- ① 効果測定のための職員・地域住民へのアンケート調査
- ② 取組内容の検討

##### 具体的な取組パターン1

地域運営協議会の継続開催による評価・検証及び活動の継続。

【実施例】 プレーゲ本埜

##### 具体的な取組パターン2

アンケート調査による評価・検証及び活動の継続

【実施例】 松寿園

##### 具体的な取組パターン3

地域包括支援センターとして、活動の継承。

【実施例】 グリーンヒル，九十九里園